令和5年度 学校経営の基本計画

栃木市立吹上小学校

◎ 吹上ブロック小中一貫教育の目指す子ども像

- 意欲的に学ぶ子ども
 - 自他を認め合い、思いやりのある子ども
 - 心身ともにたくましい子ども
- ふるさとに愛着と誇りをもつ子ども —

1 学校教育目標

心をつなぎ明日に夢を実現させる

- 心のあたたかい子
- 考え実践する子
- 体も心もたくましい子

2 学校経営方針

- 「生命・人権の尊重」をすべての教育活動の基盤として、子どもと歩み、子どもと学び合ういきいきとした学校づくりに努める。
- 子どもが学びたい、保護者が子どもを通わせたい、教職員が勤務したいと思え、将来への夢や希望がもてる学校づくりに努める。
- 危機管理意識や対応能力を高め、安全・安心な学校づくりに努める。
- 家庭や地域と連携して、人材や環境を生かしながら、子どもたちの健全育成に努める。

3 学校経営目標・目指す子ども像

- (1) 心の成長の保証 … あたたかく、思いやりの心をもった子ども
- (2) 確かな学力の保証 … 確かな学力を身に付け、考えて行動できる子ども
- (3) 体力・安全の保証 … 強い身体と心を持ち、命を大切に生活できる健全な子ども

4 目指す学校像

「地域に根ざした信頼される学校」

— 「チーム吹上」で育もう！ 築き上げよう！ —

5 目指す教職員像(7-①)

* (-○) : 栃木市学校教育の重点との関連

- 教育的愛情をもち、子どもの健全育成を最優先に考えて行動する教職員
- 同僚性を基盤として、共感、協力、協働する教職員
- 自己の責任を果たし、明るく、温かく、誠実な教職員
- 自己研修に努め、確かな授業力・指導力をもった教職員
- 子どもや保護者、地域から信頼される教職員
- 時間外勤務時間の削減を図り、健康維持・管理に努める教職員(年間月80時間超完全解消)

6 経営目標達成のための方策

(1) 心の成長保証のために

- ① **生命・人権を尊重し、一人一人が互いを認め合う学年・学級経営を行う。(1-①・②)**
 - ・ 山本有三の精神に学ぶ心の教育の充実
 - ・ いじめを許さない、人権意識の強い集団の育成(教育相談・Q-U・校内人権週間)
 - ・ 性の多様性を認め合う児童の育成(LGBT関連の授業実践)
- ② **道徳科の時間を要として、教育活動全体を通じて道徳教育の充実を図る。(1-③)**
 - ・ 本校道徳教育の重点である「自他の生命尊重の精神・善悪の判断力・規範意識・人を思いやる温かい心」の育成を目指した指導の充実
 - ・ 自分を見つめ、話し合い、自分の生き方や在り方について考えを深めることができる道徳科の授業の実践
- ③ **児童理解と支援のための体制づくりと、児童指導の充実を図る。(2-①)**
 - ・ 児童の特性や思い、悩み等の把握・理解と全教職員での共有(観察・教育相談等)
 - ・ 早期対応、早期解決のための手立てや体制づくり(児童指導委員会・ケース会議等)
 - ・ 報告・連絡・相談・確認による指導・支援の経過の把握と継続・改善
- ④ **明るいあいさつの習慣化を図る。**
 - ・ 児童会を中心とした、朝のあいさつ運動の推進
 - ・ 教職員による日常の継続指導や、地域・保護者への啓発と連携
- ⑤ **読書活動を推進する。**
 - ・ 読書の習慣化の工夫(課題図書を読破推奨・校内読書週間の実施)
 - ・ 朝の読書タイムと読み聞かせの推進(とちぎ未来アシストネットの活用)
 - ・ 「うちどくの日」による家庭での読書習慣育成と団欒の奨励

(2) 確かな学力の保証のために

- ① **「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、「とち介の学び」を基にした授業改善を通して、学ぶ楽しさを実感できる授業、分かる授業づくりに努める。(3-①・②)**
 - ・ 毎時間の授業のねらいの明確化と振り返りによる学びの深化
 - ・ 問題解決的な学習や体験的な学習の推進
 - ・ ICT(タブレット端末等)活用を通じた情報活用能力の育成
- ② **学力向上のための指導改善に努める。**
 - ・ 安心感と分かりやすさを高める授業と環境づくり(特別支援教育・UDの視点から)
 - ・ 学校課題研究の推進や一人一授業の実践による授業力の向上
 - ・ 本校の「学習のやくそく」の共通理解と定着
 - ・ チャレンジタイムの充実
- ③ **外国語科学習や外国語活動を推進する。(4-①)**
 - ・ 伝え合うことの楽しさを体験できる活動の実践
 - ・ 主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度の育成
- ④ **「ふるさと学習」の計画的・系統的な学習の充実を図る。(5-①)**
 - ・ 生活科・総合的な学習の時間等における計画的・系統的な実践
 - ・ 地域の教育力(とちぎ未来アシストネット)を活用した学習の充実

⑤ 家庭学習の習慣化を図る。

- ・ 家庭学習強調週間の実施と家庭学習の記録の活用
- ・ 家庭学習の内容や時間の具体的な指導(家庭学習の手引きの活用)

(3) 体力・安全の保証のために

① 自分の命を自分で守るため、主体的に行動する態度を育成する。(3-④)

- ・ 基本的な感染症対策の徹底と継続(手洗い・うがい・換気など)
- ・ 交通事故ゼロを目指した交通安全教育の徹底(交通安全教室)
- ・ 登校・下校指導の充実(一斉下校時の振り返り・地域の協力)
- ・ 防災教育の充実(避難訓練・引き渡し訓練・地域や家庭との連携)

② 目標をもち、実現に向けて努力する意欲と態度を育成する。

- ・ 目標をもたせ、達成に向けた努力に対する称賛や継続支援
- ・ 進んで働く子の育成(清掃・当番活動)
- ・ 主体的に活動する子の育成(係活動・委員会活動・各種行事)

③ 体力の向上と、健康安全教育を推進する。(3-③)

- ・ 楽しく活動量のある体育の授業の実践
- ・ 保健指導の充実と衛生的な生活の習慣化
- ・ 体育的行事や課外活動等を通じた体力や技能の向上

④ 食育を推進する。

- ・ 食に関する年間指導計画に基づく指導の充実
- ・ 給食指導を通じた栄養バランスの取れた食事の推奨(給食週間の実施)
- ・ 農作物の栽培や収穫活動を通じた、食に関する意識の高揚

(4) 地域とともにある信頼される学校づくりの推進

① 家庭や地域社会と連携し、開かれた学校づくりを推進する。(6-①)

- ・ 「ふるさと学習」の推進(とちぎ未来アシストネットの活用)
- ・ 学校運営協議会の計画的実施と連携・協力(コミュニティ・スクールの推進)
- ・ 授業参観、ファミリー参観、親子ふれあい学習の実施
- ・ 学校の各種たよりの配付やホームページの更新による現況や取組の情報提供
- ・ PTA活動における保護者との連携・協働

② 地域に根ざした一貫性のある教育を推進する。(6-②・③)

- ・ 吹上ブロック小中一貫教育の「目指す子ども像」の実現のための指導の充実
- ・ 幼保・小・中の交流学习の実施
- ・ 教職員の合同研修、職場体験学習、乗り入れ授業等の実施

◎ 子どもたちに身に付けさせたい3つの力

低学年(身に付けよう:定着期)	中学年(伸ばそう:充実期)	高学年(広げよう:拡充期)
室内外で安全に生活できる力	自分の命を自分で守る力	自分たちの命を自分たちで守る力
元気なあいさつや返事ができる力	進んであいさつをする力	進んであいさつを交わす力
相手の話を最後まで聞く力	自分の考えや思いを伝える力	お互いの考えや思いを伝え合う力